

パンフレットの見開きにある藤井啓太君（富山東高校卒 平成22年度在籍）の本音コメントです。  
メリハリのついた学習をしていたのがわかると思います。ご参考にどうぞ。

金沢大学 医学保健学域 医学科 合格ストーリー（偏差値50 70へランクアップ）

## 数学

一学期はとにかくテキストの予習復習を徹底しました。予習についてですが僕は実力不足すぎて解答正解率が10問に1問だったりしたけど、とにかくやれるだけやって下さい。しかし時間をかけすぎるとほかの勉強に支障があるので長くて1時間くらい。できなくて授業中にこれは解けたよね？と先生に言われてもショックを受けなくても大丈夫です^^僕はそればかりでした。それよりも授業と復習をとにかく必死でがんばる！授業では受身になることなく(少数ならアットホームな感じなので)積極的に質問したらいいと思うし、復習に使うのでノートは本当にしっかりと取りましょう。

復習はその日のうちにもう一回といて、わからなければ質問に行く。あと時間を空けて(一週間ほど)もう一度解きなおしました。僕はほとんどわからなかったのが毎日質問でした。しかしこの復習段階では授業でその日にやった問題で解法を覚えてしまっているのだから解けることは解けます。ここで重要かつ質問のときのコツですけど、どういう風にとけばいいのかだけでなく、なぜこのように解くのか、なぜこの解法がここで思いつくのかを聞くこと。これを行うことで何問も解くうちに経験的にわかっていくことが1問&1回の質問で得られます。すると問題と解法が理屈で結びついて、試験でのひらめき具合が違ってきますし、問題の作成者の意図や、問題を(1)(2)などにわけた理由もなんとなくわかってきます。問題のこれが解答する上で非常に役立ちます。質問についてですがどんな変な質問だってもんどもんどもしょう！

当初あまりに基礎に不安があったのでチャートと並行して勉強しようとしたのですが、時間的に無理でした。だから本当に必要なところをみつめむ程度にしました。ようはテキスト一本で！テキストの問題なら全部友達に解説できるぜってなれば最高！しばらく成績が上がらなくても気にしないで大丈夫です。どれだけ丁寧に復習しても次の予習が解けないのは問題の内容に重複がないからでつまりテキストの問題配置がよいというだけのことです。あと積分に自信のない方が多いと思うので、テキストが積分に入る前に、吉崎先生に積分計算練習プリントをもらって人並みに積分できるようになっておきましょう。それに苦手な単元がある人は単元別プリントを先生からもらってやってみてもいいと思います。

夏休みは夏期講習があります。特に理系はCが重要かつ頻出なので予習復習は丁寧にしました。夏休みにも一学期のテキストを復習しました。本当にテキストLOVEでした。

二学期はテキストが難しくなります。しかし力がついてきて予習で解ける問題が増えたりします。一学期と変えたのは予習や授業で完璧にわかったら復習しなかったり復習を少し減らしたということです。一学期の頑張りで自分の弱点が分かってきて、かつどのような問題に対してもある程度あがくことができるようになったので、問題をたくさんこなしたり弱点集中補修をするため市販の問題集に手を伸ばしても効率よく勉強できるようになりました。

センターについては85、80点でまっまっというところですが、センター形式に慣れる程度、あと本番では高望みせず八割でいいやという気持ちでうけました。そしたらほんとに八割くらいでした(笑) 今から思うともうちょっとやってもよかったと思います。

ちなみに二次試験の数学は満点でした。

過去問はそんなにやりませんでした。傾向があるならかく頭に入れる程度で、結局3、4年分くらい解いたくらいで、特に研究などはしていません。傾向に偏った勉強をするといざ本番で傾向が変わるとかなりあせると思うので、そのような勉強ばかりするのはやめましょう。ちなみに今年、金大は傾向ががらりと変わりました。

### おすすめの問題集

#### 大学への数学

弱点補強につかきましょう。

#### 入試問題集

先生にすすめられた。最新の問題の雰囲気がつかめてかつ数をこなせる。

これらは夏休みと二学期にしようしました。問題数が多いので\*マーク(重要問題の意)の問題だけをやりました。

一学期はテキスト！

#### ちゅうよびで配られた公式集

よくみました。

全体的にはテキストと入試問題集の二本柱という感じです。

### 英語

一学期は授業が中心でした。しかし数学ほど予習復習が重くないので市販参考書をばんばんつかいました。英語も質問によくいきました。英語も意外かと思うかもしれませんがかなり理屈の世界です。だから文章が(単語はわかるのに)わからないって時は訳をみてなるほどーでおわるのではなく、なぜ 例えば、that はぱっとみではどのような役割かわからないけど、どのように that の役割を決定すればいいのその思考プロセス(さらに具体的にいうと一例として idea that S V と来たら idea は意見系の単語だから that は接続詞かもしれないし関係詞かもしれない、だから V に目的語があるかをチェックしよう。あと V が自動詞か他動詞かも考えて...というような思考) こう読むのかということ自分で考えるなり、先生に質問したらいいと思います。これは藤田先生の授業を受けたらわかると思いますし、その思考回路が出来上がるととにかく下線部和訳が楽しくなります。僕たちは日本人だからフィーリングで読むなどどうしても無理だと思います。どの教科にもいえることですが、質問してどんどん先生達の思考回路を自分の物にしていくという意識があるといいです。あと授業の問題はひっかけやすいいい問題でいつもひっかかって悔しい思いをしたので強く頭に残りました。

英語は市販のものにも結構頼りました。

#### ネクステージ

文法はこれと授業で。一学期にやっておきたいです。(僕は文法が嫌いで後回しにしてしまったけど...)二周くらいすればいいんじゃないでしょうか。問題の数が多いので二周目はわからなかったものだけにしました。

#### ビジュアル英文解釈 part part 伊藤和夫著

この本はこの一年浪人して出合った中で最も素晴らしい参考書です。

これは最初すごく簡単な文章から始まるので英語が苦手な人もとつきやすいですし、最終的にはかなり難しい文章まで読めるようになります。僕は専用ノートを作って本文を貼り付け、読めなかった部分にマーカーを引いて、あと重要なポイントをメモするというやり方でした。復習では、この本は読み進めていく系の若干ストーリー仕立ての本でもう一度読み返すのはきついで、先ほどの専用ノートを見直すという感じです。だからノートは復習しやすいように考えて作りました。あとこれで勉強するときは次の章に入る前に後ろ三つ分の章の文章を読めるかチェック(まあこれが復習にあたります)してから、次の章に進みました。だから同じ文を4回くらい読んだことになりま。これは一学期中に終わったか終わってないくらいです。これをマスターすると英語の吸収力がぜんぜん違います。あとびっくりすることにこの本の中での考え方と藤田先生の考え方というか教え方がすごいリンクして相乗効果でした。

#### ポレポレ

これは英語が得意になった人がビジュの後に締めによつたらいいと思う一冊で、藤田先生にすすめてもらいました。結構レベル高いです。

ビジュが終わりこれを全部やり終わったころには、和訳に関してはかなりの自信がありました。やり方ですがこれは特にノートも作る必要はないと思います。

#### 大矢英作文講義の実況中継

どうしても手ばかりになってしまう英作文ですが、この本を中心に勉強プラス添削してもらえばばっちりだと思います。この本は出合ったランキング2位です。これは読むだけでもめちゃくちゃ面白いし、英作だけでなく英語の力がさらにアップです！ただしこの本は読むだけで面白いせいで自分の手で書くことなしにどんどん読み進めてしまいがちですが、しっかりと自分の手で書いて、自分で見直しをしたり先生に見てもらいましょう。特にセンター後に本腰いれるといいと思います。僕は受験中盤には読んだりはしましたが、あまり書くことはせず、センターが終わってから、この本をつかって書きに書いて、添削してもらうことで自分の癖やこの本だけではわからない部分を補いました。すると結構自然な文が書けるようになってきて楽しくなってきます。そしたらしめたものです。

## システム英単語

これは覚えやすいと思った英単語です。

しかしあまり単語を覚えることだけに長時間使うのはよくないと思うので、語彙力がなさ過ぎる人はあれですが、三日に一回たくさんではなく、毎日こつこつ、というようなのがいいと思います。

## 長文について

長文練習の問題集は解説のよさはあまり重視しませんでした。というのも考え方は授業とビジュアルで十分なのでただ英語になれるというか経験値を上げるためにひたすら読みまくればいいので、なんでも本屋で買ってとにかく読みさくればいいのです。復習はわからなかった単語チェックと和訳の部分とか軽くです。あと要約とかも慣れが必要です。いろんな形式の問題に慣れたいなら、東大の英語 25 年がお勧めです。が僕はむずかしくてやめました。

センターは 175 くらいで、文法が半分くらいしかとれませんでした。意外に配点がでかいので文法は嫌いでも頑張っ、て、しっかり授業をうけて高得点を狙いましょう。

## 物理

為近先生のハイレベル物理がすばらしかったです。これは七月いっぱいまでに全て見終わりました。この授業のおかげで物理が大好きになりました。ハイレベルとありますが、為近先生はかなり基礎(というかほんとの感動してしまうような根源的なレベル)からやってくれるので苦手な人でも大丈夫かと思えます。ただし扱う問題は難しいです。しかしかなり良問。ノートは本気でとりました。そのノートはセンター後の最後の最後まで使いました。ちなみにみればわかると思いますが、授業は まとめ 問題解説 ポイント整理 という流れですが、 と でノートをわけて作った方が後々 ノートが役にたつのでいいと思います。あとノートに、今黒板を写してるのは第何講のものかちょっと書いておくと、もう一回ノートをみてわからなくて DVD を見たいときにどれをみたらいいかすぐわかって便利です。夏休みはこの授業のテキストの見直しばかりやって、わからないところだけもう一回 DVD を見直すという感じだったと思います。それでだいたい力がついたと思ったら ノート片手に重要問題集をただひたすら本番までやりさくりました。二周目以降は問題を選らんでやりましたが、だいたい三周くらいしたと思います。現役のときに全然わからなかった問題たちがわかっていくのは快感でした。もしかしたら為近先生に洗脳されすぎて重要問題集の解説にケチをつけたくなくなるかもしれませんが、そこはどうぞ為近流を貫いてください。物理の問題はたいていパターンが決まっているので各分野の典型問題をピックアップしたノートを作りしょっちゅうみてれば今やっていない分野の知識が抜けるということはないでしょう(例えば力学ばかりやっていると、いつの間にかせっかくある程度できるようになった電磁気分野の知識がぬけてまた基本からおさらい...ということがよくありました)。

センター物理は 9 割越えましたが物理は二次ができればセンターも結構できる感じがします。しかしやはりセンター特有の問題や、時には電子レンジの周波数みたいなものもでするので、物

理の教科書を読むというのはなかなか苦痛ですが、センター前は教科書を熟読しましょう。あとセンター演習も。

物理はシンプルで、為近先生の授業マスター + 大量問題演習しかしていません。

## 化学

最初は亀田先生のハイレベル化学を受講し、これも七月いっぱいですべて大体見終わりました。これも見ればわかりますが、第一講目で衝撃を受け無印で色鉛筆を買いノートの清書もまじ本気！で頑張りました。亀田先生の授業は化学を根本的に捉えておりそこがいいなと思いました。この授業が僕の以降の化学の根本となっています。しかし実戦問題の解けなさに不安がある僕はどうも亀田先生の授業が合わなかったのです。ちなみに亀田先生の授業は人の相性がすごい分かれて金大に去年受かった人はどんぴしゃだったそうです。それで参考書に頼りました。それが照井式解法カードという参考書です。これは理論無機有機に分かれていて三冊買って頑張りました。ただしこれは化学が苦手な人にはちょっととっつきにくいかもしれません。でも化学っていちばんとっつきにくくて高校の範囲でもすごくとっつきつめればとても深くなってしまいうりにくい教科だと思うので、ここは我慢して頑張って読み込んでみましょう。

特に理論はこれで好きになれた気がします。無機に関しては教科書はカラーなのできれいだし、つかったらいいと思います。

センターですが、化学は二次ができればセンターも、というわけではありません。実際ぼくは直前の記述模試の化学が92点だったのですが、センター本番は79点でした。これの原因は暗記系の問題で計算問題などはほとんどあっていません。

暗記といっても無機の王道などではなく、電気伝導性など...まあとにかく二次に出題される暗記系問題とは毛並みが少し違う問題です。解決策ですが、とにかく教科書を読みまくれ！です。これにつきます。だからセンターが近くなったら教科書を熟読しましょう！

あとこれは化学が(無機)伸びるコツですが、反応式を覚えるとき、なぜこの反応がおこるのか。これを強烈に意識してください。反応には理由があるということを必ず常に頭に入れましょう。僕は反応式を覚えていても、どうも化学というものがつかめない感覚がありましたが、これを意識しだしてから化学がわかるようになってきました。

簡単に言うと、大体の無機の反応が、  
酸化還元反応 酸塩基反応 沈殿反応 追い出し反応 などに当てはまります。ひとつひとつの反応に理屈を通すようにしましょう。

あと2次では錯イオン形成の反応式をよく書かされるので特に注意しました。

化学は解説が詳しい問題集がいいと思いますので

解説が詳しい頻出重要問題集化学

という問題集が名前負けせず本当に解説が詳しいのでおすすめです。

無機ですが暗記要素が多いため早めに覚えても忘れてしまうので、まず理論無機有機の大体の理解ができれば、最初の方は理論を中心に勉強したらいいと思います。

僕は、無機有機はセンター後にぐっとあげました。

### 倫理

僕は最初地理だったのですが、どうも苦手だったので 12 月くらいに倫理に変えました。倫理は代ゼミの陰山先生の表紙の黄色い面白いほどわかる！みたいな題名の本をノートにまとめ、とにかく読みまくって、だいたい覚えたら問題演習をやりさくというワンパターンな感じですが、84 点とまあ無難な点数をゲットしました。理系はセンターも頭で考えるものばかりというか the 暗記 という科目がないので倫理みたいな暗記科目があると気分転換にもなるしいんじゃないでしょうか。

### 国語

国語は 153 点くらいだったきがしますが、全然だめだったので特にはないです。

本人と話し合い、国語のセンター目標点は 160 点としてたのでこれで十分でした。  
(チューター 吉崎 談)

### ちょっとしたこと

高校ほど縛られないので

一日になにをするか、何月までになにをするか

などしっかりと計画をたてる！僕は計画の緻密性だけは誰にもまけなかったと思います。なぜかという僕は自分は努力が足りないという悩みなんかより、自分の勉強の努力が間違っただけの方向を向いていないか、効率が悪いのではないかとことをとても気にしたからです。すると自分の今やっていることよりもっとよい方法があるのではないかとか、これでは本番に間に合わないのではないかと思ってしまい自分の勉強が合格につながる気がなくなってしまいやる気マックスで勉強できませんでした。だからまずこの問題集をやれば大概の問題は解けるようになる、と仮説を立て問題数を数え、何月までに終わらせるかを考えてそれまでの残りの日数で割って、週に一日は遅れを取り戻す日など作って、一日何問やればいいと計算しました。するとこれさえすればできるようになると確信がもてやる気が倍増しました。ただ計画通りやればいいからです。ただぼんやりと一日やれるだけやるという風な方法は怖くてできませんでした。これはかなり性格によりますが...。ちなみにそういって計画通りにはなかなかいきませんでした。

二次 4 教科をみるとやはり数英が、できるようになるのも大変だけど、いちどできるようになるとなかなか身から離れない教科なので最初のころは数英中心で勉強したらいいと思います。僕は最初のころ数英頑張ったおかげで終盤の物化の追い込みのための時間を英語の勉強時間を削って作ったりできたので、特に理系にとっては早い段階で英語が得意になっておくのはかなりの強み

だと思います。一学期は問題演習というよりは授業の予習復習に追われサテラインもハイペースだったのでかなりきつかったですが、二学期は一学期で培った力を問題演習で試す！という感じで一学期に比べたら楽しかったです。

勉強はできる限りはやく予備校にきて夜は必ずこの一年ずっと九時までやりました。いったん七時くらいに友達とカップ麺を食べながら休憩していました。

家に帰ってからはテレビばかり見ていたきがします。どうしても家ではできませんでした。だから土曜で七時に閉まる日などは近くの自遊館で九時まで勉強しました。

絶対してはいけないことは夜更かしです。その日の勉強がうまくいかなくても夜中に挽回しようとしてはだめです。次の日ががんばってね。

勉強ばかりだと疲れるので遊ぶことも大切でしょう。友達と模試の終わりによくカラオケでストレス発散していました。適度に休んで気力と体力を一年安定させましょう。

あとこの一年友達という存在は本当に大切に、ぼくにとって絶対なくてはならない存在でした。

僕はいいませんが、受験しにいてここに絶対きたい！と思ったので、オープンキャンパスにいったらモチベーションがあがるのでぜひいくべきだともおもいました。

僕は国立がだめでも行く気はありませんでしたが、早稲田を受けました。しかし前日のホテルでの緊張した気分や本番の緊張が味わえるので、私立行く気がない人もぜひ受けたらいいとおもいます。早稲田の数学の試験では解けなくてパニックになって汗が吹き出しましたが、それがいい経験になって国立では落ち着いて集中して問題に取り組みました。

模試も最初から組み込まれているものだけでなく大学別の模試も積極的にうけて試験慣れしておくことが重要かと思います。ちなみに医学部うけたい人はかなり難しいところをうけるのでないのならば、医学部模試はうけず、うける大学のレベルにあった大学別オープンを受けたいでしょう。医学部模試はむずかしいです本当に…。金大などは他の学部と問題が一緒だし、こんな難しい問題解く必要ないです。とか言って全部受けましたが^^;

問題集全般についてですが1周目が終わって二日目に入るとき、やはり1周目でできた問題は軽く解くだけに抑えたいし、できなかった問題こそ重点おいてやりたいので、面倒ですが1周目にとくときに、一問一問一言感想を添えておく(例えばグラフを使って解くべきだった、単振動を円運動の射影とかんがえられなかった、など)2周目が効率良いです。

僕は12月23日(富大面接の日)くらいまでは二次一本で勉強していました。12月前半とセンター後は大学別模試の過去問や大学の過去問を友達と勝負したりして、楽しんでいました。

本番におもったのは、終わった科目はミスを探したりしないってことです。僕はそれをしてしまい化学で、極性、極性、極性、無極性と書かなければいけないところを、あり、あり、あり、なし、と書いてしまい4問を失ったことを発見し動揺してしまいました。

僕はセンター746でまあ医学部受験としてはミスってしまったわけですが、二次力に自信があったのでめげることなくその後も勉強できました。

面接があったので吉崎先生に模擬面接をしてもらおうよう頼みました。なぜか本番のほうがリラックスできました(笑)

浪人生活は友達と切磋琢磨して楽しむ！が一番でしょう。この一年よく笑ったと思います。自分の番号を見たときは、ふう終わった。という感じで結構冷静でした。早稲田の合格のほうがなぜか興奮しました。

内容がいいなどあまり思いませんが、受かっていった人がどんな勉強をしたかかなり気になったので、特に僕は平凡な成績からのスタートだし役に立てればいいと思います。

去年の人の真似ですが、one ok rock の努努という歌は単純ですが、聴くととにかくやる気です！高い志望校掲げて周りから現実味ないとかいわれた人には特にお勧め(笑) 聞けばわかる